

あま市議会だより



<http://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>



清洲街道の桜並木（4月2日 あま市蜂須賀にて）

3月定例会のあらまし

2ページ

平成26年度一般会計予算

4ページ

中学生の通院医療費3分の2を助成

8ページ

市政を問う(14議員が一般質問)

9ページ

審議結果一覧

18ページ



新市民病院建設現場

総額 54.5 億円 新年度予算可決

一般会計 0.27%増 25.3億円

3月定例会のあらまし

3月定例会は、

2月26日から3月25日までの28日間、開かれました。

市長の施政方針では、5年目を迎え、成長期に入るあま市全体が、力強く、健やかな体力を身につけ、現在そして未来の発展へと繋げていかなければならないと述べられました。

その後、条例改正や平成26年度一般会計、各会計予算などを審議しました。

条例や新年度予算、補正予算などを、それぞれ所管の常任委員会に付託。

慎重に審議した結果、提案された議案を原案のとおり可決しました。

平

成26年度の一般会計と7つの特別会計、2

つの企業会計を合わせた当初予算総額が、54.5億178万円と決まりました。このうち、一般会計は25.3億3300万円、前年度比0.27%、6810万円の増額となりました。

新

規・拡充の主な事業として、『地区計画策

定費』1366万円が計上されました。本庁舎の整備と一体となった計画的な市街地整備に向けて、市街地の適切な誘導を図

るための計画を策定します。

橋の修繕や耐震補強を行い、道路ネットワークの安全性・信頼性の確保を図るため、橋梁長寿命化改良費に7800万円を計上。

開館10周年を迎える七宝焼アートヴィレッジで記念特別展などを実施するため、特別企画展費として984万2千円を計上。

平成25年度に発足した、総合型地域スポーツクラブ「あまスポーテッククラブ」が行う事業に対して交付する補助金として612万円が計上されました。



平成 26 年度会計別予算一覧表

(単位：万円、％)

会 計 名	2 6 年 度	2 5 年 度	増 減 額	伸 び 率
一 般 会 計	253億3300	252億6490	6810	0.27
国 民 健 康 保 険	97億2641	96億5603	7038	0.73
土 地 取 得	70	36	34	94.68
簡 易 水 道 事 業	4787	4764	22	0.47
市 営 住 宅 管 理 事 業	4307	9508	△5201	△54.70
介 護 保 険	45億7252	44億1676	1億5576	3.53
公 共 下 水 道 事 業	18億615	19億809	△1億193	△5.34
後 期 高 齢 者 医 療	15億4213	14億4243	9970	6.91
水 道 事 業	13億1026	11億8185	1億2841	10.87
病 院 事 業	101億1968	44億7711	56億4257	126.03
合 計	545億178	484億9024	60億1154	12.40

注 1) 合計欄は各会計の端数処理により一致しません。

注 2) 増減額、伸び率は端数処理により、表内での計算と一致しません。

議

員報酬、市長・副市長・教育長の給料月額が改正されました。市長給料は40000円の減額。

副市長・教育長給料は3000円の減額。議員報酬は20000円の減額となりました。

子

ども医療費支給条例が改正されました。これまで中学生の入院に対し、自己負担額が全額助成されていましたが、これに加え、中学生の通院に対し、自己負担額の3分の2が助成されます。

一

般質問は、3月4日に行われました。14人の議員が登壇し、市の行政全般について多岐にわたって質問が出されました。(質問の内容は10ページから16ページに掲載しています)

持続可能な地域社会を

「市民、地域、行政が、それぞれの責任と役割のもと、
互いに協力関係を築きながら『地域の絆』を高めていきたい」と、
市長の施政方針が示されました。

新年度予算は、本会議で2日間の質疑を踏まえ、3つの常任委員会へ付託され、
延べ5日間にわたって審議されました。

その結果、付託されたすべての議案は、常任委員会で可決すべきものと決定。
25日に行われた本会議で可決しました。

主な新規・拡充事業

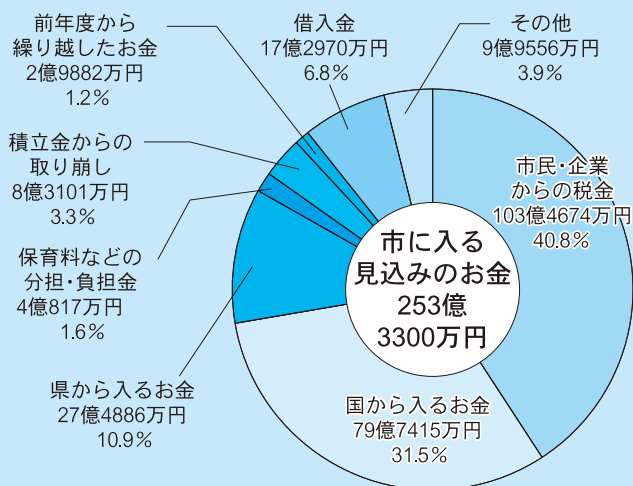
■愛知県消防操法大会出場事業費	570万円
■防災情報通信システム運営費	587万円
■地区計画策定費	1366万円
■排水路現況調査費	1500万円
■橋梁維持費	4930万円
■橋梁長寿命化改良費	7800万円
■がん検診事業費	1億1034万円
■子ども医療費	4億8146万円
■障害福祉計画策定費	241万円
■子ども・子育て支援新制度システム構築費	844万円
■特別企画展費（七宝焼アートヴィレッジ）	984万円
■教育、文化、スポーツ関係全国大会等 出場報奨金	41万円
■総合型地域スポーツクラブ補助金	612万円
■私立幼稚園就園奨励費補助金	1億4992万円
■高度先端産業立地奨励金	4268万円
■観光振興推進費	817万円
■本庁舎基本構想・基本計画策定費	700万円
■愛知県知事選挙費	2688万円
■市長選挙費	2929万円

253億円の使いみち決まる
真に必要な分野に、限られた財源を

重点的かつ効率的に配分

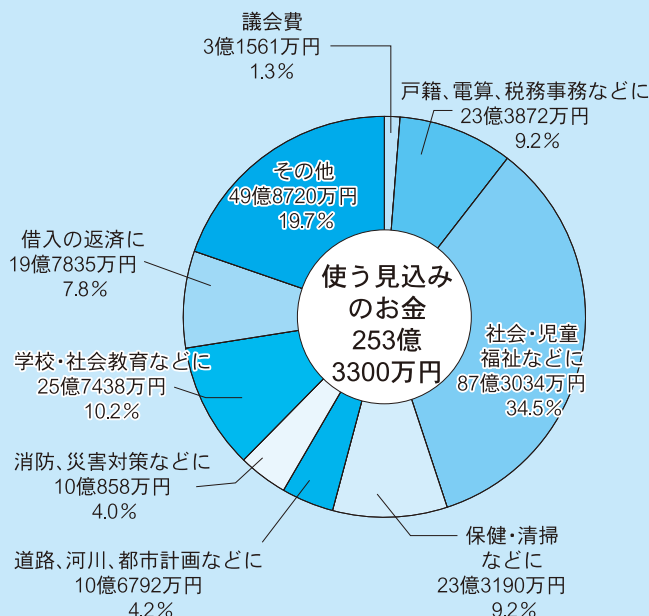
予算編成の方針

骨格予算を基本とするものの、政策的経費であつても既に取り組みが進んでいる事業や市民生活に密着した事業、緊急を要する事業は予算計上するとともに、財政調整基金の取り崩し、市債の発行を抑制するなど、限られた財源を効果的かつ効率的に重点配分。



一般会計の概要

歳出は、補助費等が国の施策である「臨時福祉給付金」や県の施策である「子育て支援減税手当」などにより前年度比4億1649万円の増額。歳入では、市税が前年度比2億6101万円増(2.59%増)の103億4674万円など。



自主財源

問 年々減少している理由は、
企画財政部長 基金からの繰り入れを抑制しているため。

諸支出金

問 年々増加している理由は、
企画財政部長 医療費の増加により、介護保険特別会計や後期高齢者医療特別会計への繰出金が増えているため。

本庁舎基本構想・基本計画策定費

問 合併時の新市基本計画に沿って策定するのか
企画財政部長 あま愛西線沿いの既存の公共施設を活用することは、検討の結果、無理であった。

現在は、その付近の七宝地内で整備を検討している。



現在の市役所本庁舎

愛知県知事選挙費

問 昨年、投票用紙の読取分類機を購入しているが、今回の予算にどう反映されているのか。
総務部長 読取分類機を導入したことで、開票にかかる人件費では26万1000円の削減、開票事務従事者の人数では20人の削減となっている。

【ことば】

【自主財源】

市税、手数料、繰入金など市が自主的に収入できる財源。

【新市基本計画】

合併特例法の規定に基づき、新市における円滑な運営の確保や、均衡ある発展を図るため、合併協議会において策定される計画。

あま市の新市基本計画には「合併後3年を目途に5年以内を目標に、新市の中心付近である主要地方道甚目寺・佐織線(現あま愛西線)沿いの七宝地内を最適地として、経費削減のためにも新築ではなく、既存の公共施設等を活用(改修等)し、整備を図ります。」とある。

固定資産税賦課費

問 減額の理由は。
税務課長 平成25年度は3年ごとに行われる評価替えのため、不動産鑑定業務と固定資産システム評価業務経費を計上したため。

臨時福祉給付金

問 給付はいつごろか。
福祉部長 給付対象者は平成26年度の市民税の均等割が非課税の方となっており、6月1日の課税決定後に申請書送付、7月ごろから申請受付、8月末ごろの振り込みを予定している。

男女共同参画推進費

問 講演会の参加人数は。
人権推進課長 前回の参加者は250名であった。今回は300名を予定している。

高度先端産業立地奨励金

問 なぜこの企業なのか。
産業振興課長 愛知県に高度先端産業工場として登録されている企業の中から申請のあった企業を愛知県と共に審査して決定した。

問 美和町時代に騒音で問題になっているが、補助金を出すのか。
建設産業部長 新工場を併設し、防音対策を施すなど、近隣への環境対策に配慮することを確認している。

坂牧東交差点改良費

問 買収はどれくらい終わったのか。
土木課長 6件中1件が買収済み。

特別企画展費

問 事業内容は。
建設産業部長 七宝焼アートヴィレッジの開館10周年に合わせ、七宝の名工、並河靖之と濤川惣助の作品を各地の所有者から借用して一堂に会する名品展を開催する。

橋梁長寿命化改良費

問 長寿命化によってどれくらい寿命が延びるのか。
建設産業部長 これまでの橋梁の耐用年数は、一般的に50年程度とされていたが、100年程度は使用可能となるよう計画的な修繕を行う。

橋梁維持費

問 工事の内容は。
建設産業部長 福田川に架かる大日橋、蟹江川に架かる川伊大橋の補修工事および耐震補強工事を予定している。



川伊大橋

排水路現況調査

問 対象地区は。
土木課長 平成26年度は下萱津、中萱津、上萱津で実施する。

地区計画策定費

問 他の地区の予定は。
土木課長 次年度は篠田、小橋方を検討している。
問 具体的な位置は。
市長 今のところ、名鉄七宝駅を中心に、あま愛西線に向けて約1^キ圈内を考えている。

問 地区計画策定の際に住民参加は保証されるか。
都市計画課長 事前に説明会などを開催しながら計画を策定したい。

問 25年度に行った「パパと一緒にパンづくり」と「夫婦で3分クッキング」は好評であったが、26年度はなぜやらないのか。
人権推進課長 他の事業と1年おきに実施している。

防災情報通信システム

問 職員用参集メール配信システムの詳細は。

総務部長 非常時に、職員へ速やかな参集を呼びかけるためのメール配信を行うシステム。

また、本メールシステムを使用することにより、あま市内にいる全ての方に、消防庁よりJアラートを通じて発信される災害などの緊急情報を配信することができ。

全国大会等出場報奨金

問 全国大会の基準は。

生涯学習課長 国民体育大会、日本選手権、全国社会人選手権、全国高等学校総合体育大会、障害者福祉ねんりんピックなどを想定している。

文化・芸術部門でも多様な大会が開催されているが、国が主催、共催、後援していることを一つの基準と考えている。

学校教育関係事業費補助金

問 減額の理由は。

教育部長 修学旅行事業において、対象児童、教職員が減ったため。

給食センター運営費

問 調理業務委託料増額の理由は。

学校給食センター課長

消費税率の引き上げに伴うものが約130万円、人件費が190万円、消耗品費が50万円、燃料費が60万円の増額。

討論(要旨)

【反対討論】

野中幸夫 市長の施政方針の中で、4月に市長選挙が予定されているので、

骨格予算としていっている。文化・芸術部門でも多様な大会が開催されているが、国が主催、共催、後援していることを一つの基準と考えている。

この点からも極めて政策的な予算である。法律上は、同地域はなくなっているにもかかわらず、旧同和予算ということで、保育用具、出産祝い金、入学祝い金などの予算が組まれており、政策的予算になっている。

この予算は選挙費用を除けば、新規事業は13項目にわたっており、とても骨格予算と言えない。

本庁舎基本構想、基本計画策定費および地区計画策定費は本庁舎の建設に向けたものであり、まさに政策的なものである。

【賛成討論】

花木敏行 災害時の情報をいち早く配信できる防災情報通信システムの拡

高度先端産業立地奨励金は、4200万円もの税金を一企業に投入するものである。地元雇用も保障されていない。先回

も1億円を他の企業に補助するなど、特定の企業への優遇策であり、この財源で住宅などをリ

フォームした際に補助制度をつくれれば、市内の中小零細業者への仕事起

しにつながり、経済効果があると言われている。

この点からも極めて政策的な予算である。

法律上は、同地域はなくなっているにもかかわらず、旧同和予算ということで、保育用具、出産祝い金、入学祝い金などの予算が組まれており、政策的予算になっている。

この予算は選挙費用を除けば、新規事業は13項目にわたっており、とても骨格予算と言えない。

本庁舎基本構想、基本計画策定費および地区計画策定費は本庁舎の建設に向けたものであり、まさに政策的なものである。

この予算は選挙費用を除けば、新規事業は13項目にわたっており、とても骨格予算と言えない。

本庁舎基本構想、基本計画策定費および地区計画策定費は本庁舎の建設に向けたものであり、まさに政策的なものである。

この予算は選挙費用を除けば、新規事業は13項目にわたっており、とても骨格予算と言えない。

本庁舎基本構想、基本計画策定費および地区計画策定費は本庁舎の建設に向けたものであり、まさに政策的なものである。

この予算は選挙費用を除けば、新規事業は13項目にわたっており、とても骨格予算と言えない。

の順次実施など、教育環境の充実は高く評価できる。

市内に高度先端産業の工場などを増設、新設する中小企業者に対し奨励措置を講ずるなど、産業構造の高度化および活性化を図っている。

行政改革大綱を着実に進め、限られた予算を重点的かつ効率的に配分されたものと考え、十分評価できる。

行政改革大綱を着実に進め、限られた予算を重点的かつ効率的に配分されたものと考え、十分評価できる。

採決結果

賛成多数により、原案のとおり可決。

子ども医療費支給条例を改正 中学生の通院医療費

3分の2を助成

これまで、中学生の医療費は、入院に限り自己負担額の全額が助成されていましたが、今回の改正により、通院に対する自己負担額の3分の2助成が追加されました。

討論(要旨)

政が動いたのではない。将来のあま市を支える子どもたちは宝物である。力を合わせて子どもたちを守っていかう。

完全無料化への拡大はいま一步である。まずはこの条例を全会一致で可決し、もう一步の前進を求める。

主な質疑

問 助成に要する費用の想定は。

市民生活部長 2500万円から3000万円を想定している。

問 財源は確保できたのか。

市民生活部長 平成25年度の子ども医療費予算で2500万円を減額補正できた。この状況であれ

ば、3分の2助成はできると考えた。

問 全額助成はできないのか。

市民生活部長 財政的に現在できる最大限の助成を検討した結果である。

問 3分の2を償還する

のではなく、窓口で3分の1を支払う方法(現物給付)にできないのか。

市民生活部長 現物給付

には医療機関との話し合いが必要である。平成27年度から現物給付にしていきたい。

問 PR方法は。

市民生活部長 中学校の始業式で案内のチラシを配布する。広報およびホームページにも掲載する。

【賛成討論】

加藤哲生 子供を安心して産み育てる環境づくりのために、子ども医療費制度を中学校卒業まで完全無料化に拡大すべきと質問を何度も取り上げてきた。

昨年の12月議会では、多くの方から中学校卒業までの入院、通院とも医療費完全無料化を求める請願が出された。6500人を超える署名もあった。

今回の改正は、完全無料ではなく3分の2助成であるが、市民の声で市

伊藤嘉規

子ども医療費の助成については、少子・高齢化時代における子育て支援の住民サービスとして、税金で手厚く拡充することに市民の皆さんの理解があり、財政的な裏づけがあるならば問題はないと考えている。本会議や委員会において、財源の確保や恒久的な施策としての継続について質問したところ、継続して執行していくため、鋭意努力する意向が確認できた。

真に市民の声にこたえるべく、子ども医療費助成

採決結果

全員賛成により、原案のとおり可決。

制度の財源確保のため、制度のますますの拡充を目指し、自らを律し、身を削る覚悟でもって事に当たる所存である。

今後とも、子供たちの健全な育成を育み、ますます子育てしやすい環境を推進していただくことを要望する。



市政を問う

14 議員が質問



倉橋 博 議員 (13 ページ)

1. 地下鉄 6 号線七宝への延伸構想は

石田 良雄 議員 (14 ページ)

1. 子ども医療費について

足立 詔子 議員 (14 ページ)

1. 新地方公会計制度の取り組みについて

藤井 定彦 議員 (15 ページ)

1. あま市公共下水道工事について

柏原 功 議員 (15 ページ)

1. 消防団員の処遇改善を

前田 豊光 議員 (16 ページ)

1. あま市観光協会について

伊藤 嘉規 議員 (16 ページ)

1. 名鉄津島線の高架化事業について

加藤 哲生 議員 (10 ページ)

1. 用水路などの安全対策について

野中 幸夫 議員 (10 ページ)

1. 精神障がい者医療制度について
2. 契約規則について

加藤 正 議員 (11 ページ)

1. 4月からの給食費は据え置きか

寺本 隆男 議員 (11 ページ)

1. 超高齢社会における課題について

松下 昭憲 議員 (12 ページ)

1. 市役所本庁舎建設について

橋口 紀義 議員 (12 ページ)

1. 地域包括ケアシステムへの取り組みは
2. 社会資本整備について

櫻井 信夫 議員 (13 ページ)

1. 社会的弱者の実情とその対応について





用水路などの安全対策について



加藤 哲生 議員

問 合併して面積が広くなり、多くの用排水路があるが、大問題なのが排水路の事故である。あま市内で子どもが家の近くの水路で亡くなるという痛ましい事故が

あった。今後の安全対策を踏まえて調査、整備が必要と考えるがどうか。
建設産業部長 平成22年にも七宝地区で死亡事故があった。日ごろから職員の通勤途中で気付いた点の報告、道路パトロール、交通安全総点検を実施し、把握に努めている。
問 水路整備については、市がきちんと計画を持って予算の確保が必要である。住民からの苦情、改修の要望件数は何件か。

用水路の改修実績はどうか。
建設産業部長 平成23年度から平成25年度で苦情や相談は数件ある。改修などについては、排水路改修工事、排水路しゅんせつ工事では、約260件の要望があった。
問 事故が起きてからでは遅い。今後の安全対策をどのように行うのか。子どもの目線に立って、危ないと思われる箇所はないか緊急に点検するこ

とができるのか。
建設産業部長 県、津島警察署と協力して事故防止に努めていく。ガードレール、フェンス、区画線、視線誘導標などの交通安全施設は、順次整備を進めていく。

精神障がい者医療制度について



野中 幸夫 議員

問 精神疾患以外の全疾患に医療費助成制度を広げるべきである。
市民生活部長 全疾患を対象に助成しているのは、県内54市町村のうち、通

院は37市町村、入院は39市町村である。今後、引き続き研究する。
問 市の障がい者計画では、本人の年間収入100万円以下が58・7％となっている。行きたい所や、やりたいことがあっても、お金がないためあきらめや我慢をしている。こういったときこそ全ての疾患に助成が必要である。

市長 野中議員と同意見である。計画を持って、きちんと対応しなければいけないと思っている。

契約規則について

問 契約規則第22条では、指名競争入札参加者に必要な資格、参加資格申請の時期及び方法を公告式条例の例により公示するとされている。これが守られていないが。
総務部長 3庁舎に設置

する掲示場への掲示を怠った。深く反省する。
問 当局が規則や条例を軽視すれば、住民軽視の行政につながるが。
山田副市長 指摘を受け、部長、課長全体の会議で条例・規則・法令に従って仕事をすることを確認した。

問 保育園バス油代が要綱もなく徴収されていたことなども指摘してきた。市長の決意を伺いたい。
市長 職員に周知徹底を

図り、適正な事務処理に努める。



本庁舎の掲示板



寺本 隆男 議員

問 巡回バスの案では、広域をカバーするとあるが、高齢者のニーズから少し離れていると思われる。小回りのきく移動手段が必要と思うが、各地

超高齢社会における課題について

で行われている事例は。

福祉部長 定時定路線で

はなく、小型車でデマンド形式的に運行されているものは、県内では西尾市、江南市など数自治体で実施されている。これらは全市民に対するものであり、高齢者に特化した運行をしている自治体はない。

問 地域住民の実態把握のため、65歳以上のひと

美和学校給食センター



4月からの給食費は据え置きか



加藤 正 議員

問 昨年7月の学校給食センター運営委員会で、消費税率の改正に伴う学校給食費の値上げ案が出された。1食につき20円、年間で4000円の値上げになる。公共料金や生

活必需品が値上がりする中、昨今の経済状況下で、給食費まで値上がりすると家計に重く負担がかかる。

当初より市長には「値上げには慎重に検討してください」とお願いしていた。このような現状を踏まえ、4月からの給食費の値上げはあるのか。

教育部長 給食費は、あま市合併時より現在に至っている。

料の値段が若干上がっている。また、あま市では地産地消を推進し、愛知県産の食材をできる限り取り入れているため、他県の物より高くなることもあるが、現状の給食費の中でやりくりして給食を提供している。

消費税率引き上げを踏まえ、給食費の見直しを検討したが、平成26年度については現状のままとする。購入食材の値上がり相当分として、1人1

食当たり10円、総額1650万円を市が補てんする。

り暮らし・高齢者世帯・重度障がい者を対象に状況調査が行われた。民生・児童委員が訪問し、高齢者・障がい者台帳の作成および確認をしたが、その詳細は。

高齢福祉課長 台帳には、家族構成や高齢者に何かあった場合の、緊急連絡先などが記載してある。

もし高齢者に何か異変が生じた場合、この台帳をもとにして、家族にすぐ連絡できる体制を取っ

ている。災害時には、この台帳を要援護者台帳として活用することにもなっている。

※デマンドバスとは

利用者が事前に乗りたい場所や時間を予約して、似たような予約がある場合は乗り合いによってそれぞれの目的地まで移動するバスのこと。



社会福祉協議会の福祉巡回バス



市役所本庁舎建設について



松下 昭憲 議員

施設を使うこと、3年から5年以内に七宝地内に建てるのが明記されている。

合併後、検討委員会で公共施設を活用できるかどうかなど、いろいろな角度から検討した結果、甚目寺佐織線沿いの七宝地内に平成31年度までに建てるという形が残っている。

その方向で検討しているところであり、場所はまだ決定していない。沖

之島とも正式に言っておらず、七宝地内という言葉が残っているのが現状である。

問 新あま市民病院建設で約90億の借金をすることとなった。本庁舎を建てるのに約90億かかると思う。半分を国に見てもらえるとしても、多額の費用がかかるが。

市長 本庁舎整備に多額の費用が必要なのは言うまでもないが、合併推進債を基本として、基金の

活用も含め、財源調達に努めていきたい。

問 本庁舎建設に対する市長の思いは。

市長 合併当初からの問題であり、明言もしているのですが、私の任期中に限るが、着実に進めて実現しなければいけないと考えている。

地域包括ケアシステムへの取り組みは



橋口 紀義 議員

システムを構築するとしている。市の包括支援センターの人員は足りているのか。

福祉部長 現在は足りているが、平成27年度事業は大幅に増えると予測されるため、今後検討する。

問 良質な医療を目指し、地域の医療機関と保健・福祉施設との連携に取り組むべきと思うが。

福祉部長 今のところ、

保健・福祉・医療が連携した取り組みはなされていない。近い将来、仕組みづくりを考えていく。

問 効果的な介護予防への取り組みとして、地域力を生かしていくべきである。現状と今後の連携はどうするのか。

市民生活部長 現在は、各種クラブで軽体操、健康チェック、歯科医師による指導や、歯科衛生士による口腔ケアの講話などを実施。また、ボラン

ティアの協力で男性料理教室を開催している。

問 地域やNPOの協力も重要である。ライフサポートのNPOはどれだけあるのか。

高齢福祉課長 1団体ある。

社会資本整備について

問 国土強靱化法が成立し、市は地域ごとの計画を定めることになるが。

総務部長 国が基本計画を策定後、市の計画策定

を検討する。



地域包括支援センター窓口



倉橋 博 議員

問 旧七宝町総合計画実施計画に、中村区役所駅から西部方面へ6号線の終着地として、地下鉄七宝駅を設置するところがあるが、これまでの経緯は。

地下鉄6号線七宝への延伸構想は

企画財政部長 昭和47年

3月の都市交通審議会答申に、名古屋市高速鉄道6号線の七宝・豊明線を新設路線に加えることがあった。

昭和52年、七宝地内に車庫用地を整備するとし、その候補地を提示し、早期建設を関係先に陳情してきた。

翌年には、七宝町、大治町、名古屋市中村区の

デイサービス利用者



社会的弱者の実情とその対応について



櫻井 信夫 議員

問 あま市の高齢単身者の人数は。また、孤独死の件数は。

福祉部長 65歳以上の単身者は、高齢者・障がい者台帳では、平成26年2月1日現在2461人で、

50歳から64歳の単身者は、住民基本台帳では、1850人である。
孤独死の件数は、65歳以上では、平成24年度に2件、平成25年度に2件、50歳から64歳では、平成24年度に4件、平成25年度に6件であった。

問 現在把握している認知症の人数は。また、在宅医療の必要者数は。

福祉部長 認知症の人数は、平成26年1月末での認定者の状況から、14

93人である。
在宅医療の必要者数は、平成25年11月末の訪問看護サービスの利用者を在宅医療の必要者数と捉え、137人である。

問 社会的弱者への対応の一つとして、他の市では職員の巡回、家庭訪問をスタートさせている例が見られる。あま市においても市の職員が出向く積極的な福祉対応の実施検討を。

市長 介護など福祉サ-

ビスを受けていない独居老人の方々への対応として、職員が見守るという事例もあり、巡回頻度など課題もある中で、あま市においても、今後そのような形をつくっていくことが望ましいと考えている。

関係者で組織する6号線建設促進期成同盟会を結成し、早期建設に向け活動している。

昨年には、名古屋市中川区赤星学区も加わり、関係先への要望活動を継続的に行っている。

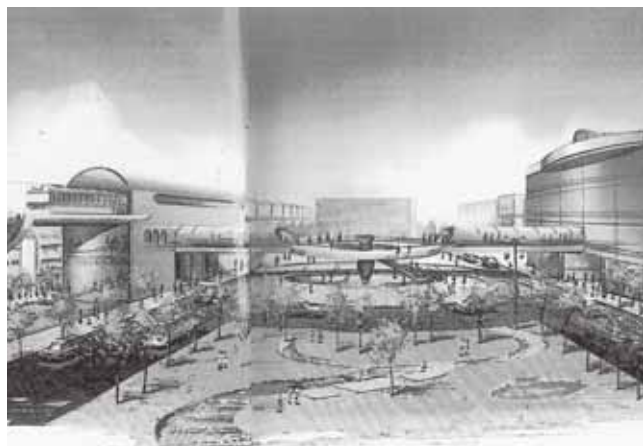
問 名古屋高速鉄道七宝駅を誘致することは、まちづくりのシンボルとなる願ってもない計画であるか。

企画財政部長 単なる移動手段でなく、地下鉄が

あることで、まちとしてのイメージアップなど、副次的な効果が見込まれることから、ぜひそのような方向に進むよう、これからも継続した活動が必要であると考えている。

問 今後の取り組みは。

企画財政部長 関係先への要望活動を継続していくと同時に、2027年のリニア開業に合わせて、この地域の発展につなげるよう、まちづくりに取り組んでいく。



地下鉄七宝駅のイメージ(七宝町総合計画実施計画より)



子ども医療費について



石田 良雄 議員

問 中学生の通院医療費の3分の2を助成するが、財源は。

市民生活部長 子ども医療費の平成25年度予算は2500万円の減額補正をしたが、平成26年度予

算を平成25年度当初予算並みに確保し、拡充分に充てる。

問 中学生あるいは18歳までの医療費無料化を行う場合、どのように財源確保するのか。

市民生活部長 医療費助成の拡大部分については、全て自主財源となる。18歳までの医療費完全無料化の財源確保は、現状非常に厳しい。

問 中学生の通院医療費の3分の2助成を平成27

年度以降も継続していくための財源確保は。

市民生活部長 平成27年度以降は、まだはつきりしていない。

問 財源確保できない場合、助成を中止したり、削減したりするのか。

市民生活部長 そのような簡単な制度ではないと思っています。できるだけ長い期間やっていきたい。

問 残りは3分の1である。学校だけがや病気をしにくい体づくりや、冬

季におけるマスク着用の義務づけなど、病気にかけりにくくするのも財源確保の一つだと思うが、完全無料化を行うのか。

市長 完全無料化に関しては、研究が必要である。健康な子どもたちをつくっていくのが我々の仕事であると思っている。

新地方公会計制度の取り組みについて



足立 詔子 議員

よび固定資産台帳の活用について。

総務部長 ①固定資産台帳は、平成23年度までに整備を終え、それ以降は、毎年度、更新を行っている。

問 本市の取り組みは。
①固定資産台帳の整備状況、老朽化比率の活用。
②将来負担および受益者負担の割合は。
③今後のインフラ整備お

総務課長 ①現在、老朽化比率は数値化はしていないが、取得価格が不明なものを除き、資産老朽化比率を算出することは可能である。

企画財政部長 ②財務書

類の4表の純資産変動計算書における、期首と期末の差を見ることがによって把握ができる。平成24年度普通会計決算ベースで、期首純資産残高857億1400万円、期末純資産残高851億1400万円、その差額が約6億円と純資産が減少しており、将来世代が利用する資産を現役世代が消費していることを意味している。受益者負担割

合は、約3%が受益者の負担となっている。

③今後、真に必要なインフラ整備を選択し、限られた財源を効率的かつ効果的に配分するよう考えている。

財政課長 ③平成26年度

編成予算では市債発行の抑制など、財政健全化を維持する方向で予算編成を行い、今後もそのような方向性でいきたい。国の動向を見ながら固定資産台帳の活用を検討して



固定資産台帳



柏原 功 議員

問 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が制定された。この中で、地方公共団体は、消防団の装備の改善および消防の相互

消防団員の処遇改善を

の応援の充実が図られるよう、必要な措置を講ずるとある。

東日本大震災で多くの消防団員が犠牲になったことを教訓に、26年ぶりに消防団装備の基準が一新された。

消防団の装備の改善について、あま市の考えは、**安全安心課長** 平成24年度は、かっぱ、長靴、ケブラーの手袋、ヘルメッ

問 消防庁は、団員の処遇改善のため、退職奨励金を全階級で一律5万円の上乗せを推奨している

ト等を支給し、平成25年度は、ヘルメット、ホース巻き取り機、発電機、油圧ジャッキ等を支給した。
総務部長 平成25年度に、全分団に防火服を4着ずつ配布するなど、装備の充実に努めている。今後、も装備の改善に努めている。
が、あま市の考えは。
安全安心課長 退職金の5万円上乗せは、現在、国会で審議中で、まだ可決されていないと認識している。それが可決次第、通知が来るので、条例改正を提案する。



ホース巻き取り機

下水道工事



あま市公共下水道工事について



藤井 定彦 議員

問 事業計画に対しての進捗率・供用開始面積は、**上下水道事業調整監** 平成25年度末現在で、事業計画面積767ヘクタールに対して、424・4ヘクタールとなり整備率

は、55・3%である。供用開始面積については、平成25年度末現在で、七宝地区111・5ヘクタール、美和地区46・1ヘクタール、甚目寺地区174・9ヘクタールになる予定である。
問 接続率（水洗化率）はどうか。
上下水道事業調整監 平成25年4月1日現在で、38・8%になっている。
問 受益者負担金の収納率はどうか。

上下水道事業調整監 平成24年度末現在で、96・6%である。
問 接続率が低いのはなぜか。また、その課題についての対策は。
下水道課長 事業説明会、工事説明会、供用開始の説明会はもとより、広報およびホームページなどで接続率の向上に努めている。
平成22年度、平成23年度に供用開始になっているエリアについて、粘り

強く戸別訪問をして、直接お話をさせていただきたい。



あま市観光協会について



前田 豊光 議員

問 昨年11月26日に、あま市観光協会が設立された。今後のあま市にとって、発展かつ活性化していく上で必要なことであり、かなりの経済効果をもたらしてくれると思う。

あま市には、国、県の指定文化財や史跡などが多くある。特に交通アクセスの非常によい甚目寺観音周辺を趣味、雑貨、グルメ、露店などのお店が並び、ゆっくりと散策しながら観音様にお参りしていただいたり、美和地区や七宝地区にある歴史上有名な戦国武将の生誕地の史跡巡りをし、七宝焼アートヴィレッジも上手く活用しながら、市内外からも沢山の方々に

観光していただける様にしていたいだきたいと思う。市の多大なる協力が、今後事業運営していく上で不可欠になってくると思うが、どの様に考えているか。

市長 歴史、文化などの観光資源を生かし、海部津島7自治体が協力のものと、市内外からの観光客を呼び入れていきたい。

名鉄津島線の高架化事業について



伊藤 嘉規 議員

問 現在の進捗状況および今後の見通しは。
建設産業部長 平成23年度より国土交通省愛知県道事務所、愛知県海部建設事務所、あま市の3者

で勉強会を立ち上げ、事業化に向け、年2回程度、問題点や課題などについて検討を進めている。膨大な事業費に伴う、多額の市の負担金が発生するので、今後も慎重に進めていく。
問 国道302号に関する名鉄本線との兼ね合いは。
建設産業部長 名鉄本線の鉄道高架事業について

は、今後の設計のための測量調査、地質調査を行っているという。当市としては名鉄本線の進捗状況を注視していく。
問 当市内の高架化の起点と終点は。
都市計画課長 まだ決定されていないが、国道302号線を中心に約1キロメートルぐらい。具体的には、東が甚目寺小学校の辺りから、西は土吐川の手前のところ約1キロメートルぐらいの範囲で

協議を進めている。
問 高架化の範囲について市長の見解は。
市長 私の要望が通るならば、あま市全体の高架化が一番望ましい。事故なども軽減され、まちづくりの展開も変わってくる。高架化により、まちづくり効果が表れるよう、今後も、国への要望をさらに進めていきたい。



国道302号線、名鉄津島線の踏み切り

追跡

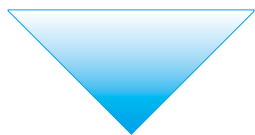
一般質問

その後
どうなった？

1年前に行われた一般質問の結果を報告します。

質 問

都市計画に沿った道路の整備状況は。

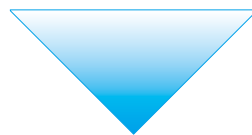


こうなった

・安松鷹居線および遠島桂線などを735メートル整備したことにより、平成25年度末の整備済み延長は21.9キロ、整備率は37.7%となる。

質 問

避難所に「簡易ベッド」を導入する考えは。



こうなった

平成25年11月18日に段ボールを活用した資材を取り扱っている北川紙器工業株式会社と災害時における支援協力に関する協定を締結した。



安松鷹居線の新下田橋東交差点



支援協定締結の様子

議案等審議結果

議案番号	件 名	付託先 委員会	委員会の 審査結果	本会議の 議決結果
議案第16号	平成25年度あま市公共下水道事業特別会計補正予算 (第2号)	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
議案第17号	平成25年度あま市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第3号)	厚生	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:1
議案第18号	平成26年度あま市一般会計予算	総務文教 厚生 建設産業	全員賛成 賛成多数 賛成多数	賛成:22 反対:3
議案第19号	平成26年度あま市国民健康保険特別会計予算	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:21 反対:4
議案第20号	平成26年度あま市土地取得特別会計予算	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
議案第21号	平成26年度あま市簡易水道事業特別会計予算	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
議案第22号	平成26年度あま市営住宅管理事業特別会計予算	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
議案第23号	平成26年度あま市介護保険特別会計予算	厚生	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
議案第24号	平成26年度あま市公共下水道事業特別会計予算	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
議案第25号	平成26年度あま市後期高齢者医療特別会計予算	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:22 反対:3
議案第26号	平成26年度あま市水道事業会計予算	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
議案第27号	平成26年度あま市病院事業会計予算	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:22 反対:3
議案第28号	市道路線の廃止について	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
議案第29号	市道路線の認定について	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について(鈴木妙子氏)	付託省略		賛成:25 反対:0
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について(近藤金博氏)	付託省略		賛成:25 反対:0

議案番号	件 名	付託先 委員会	委員会の 審査結果	本会議の 議決結果
議案第 1 号	あま市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成 :24 反対 : 1
議案第 2 号	あま市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成 :23 反対 : 2
議案第 3 号	あま市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成 :24 反対 : 1
議案第 4 号	あま市災害応急対策又は災害復旧のため派遣された職員に対する災害派遣手当に関する条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成 :25 反対 : 0
議案第 5 号	あま市行政財産の目的外使用に係る使用料条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成 :23 反対 : 2
議案第 6 号	あま市社会教育委員条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成 :25 反対 : 0
議案第 7 号	あま市子ども医療費支給条例の一部を改正する条例について	厚 生	全員賛成 原案可決	賛成 :25 反対 : 0
議案第 8 号	あま市道路占用料条例の一部を改正する条例について	建設産業	賛成多数 原案可決	賛成 :23 反対 : 2
議案第 9 号	あま市準用河川の河川区域内の土地の占用に係る土地占用料徴収条例の一部を改正する条例について	建設産業	賛成多数 原案可決	賛成 :23 反対 : 2
議案第10号	あま市消防団条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成 :24 反対 : 1
議案第11号	平成25年度あま市一般会計補正予算（第 5 号）	総務文教 厚 生 建設産業	全員賛成 全員賛成 全員賛成	賛成 :24 反対 : 1
議案第12号	平成 25 年度あま市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	厚 生	全員賛成 原案可決	賛成 :25 反対 : 0
議案第13号	平成 25 年度あま市土地取得特別会計補正予算（第 1 号）	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成 :25 反対 : 0
議案第14号	平成 25 年度あま市営住宅管理事業特別会計補正予算（第 1 号）	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成 :25 反対 : 0
議案第15号	平成 25 年度あま市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	厚 生	全員賛成 原案可決	賛成 :25 反対 : 0

あま市議会

検索

<http://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>

○議会中継…本会議での一般質問の様子や最終日の採決の模様を、ケーブルテレビのクローバーチャンネル（デジタル111チャンネル）にて放映します。放映は生中継とその日の午後7時から再放送しています。（インターネットでも録画配信を行っています。）

○会議録検索…本会議や委員会の会議録を公開しています。探したい言葉を入力すれば容易に検索することができます。

あなたも議会を傍聴しませんか？

今、あま市ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのであろう。あなたの身近なことも議会で論議されているのかもしれない。あま市役所甚目寺庁舎3階の議会事務局で、住所・氏名などを記入していただくだけで、誰でも傍聴できます。白熱した質問と答弁を、あなたもぜひ見に来られては…。

音声の聞こえにくい方のために、赤外線補聴システムを設置しています。ご希望の方にはヘッドホン付き受信機をお貸します。当日、傍聴受付までお申し出ください。

※3月議会の傍聴者数（委員会含む） 延べ16人

次回の定例会は、6月2日（月）からの予定です。

インターネット議会中継を



あま市議会映像配信
AMA CITY COUNCIL WEBCAST

トップページ 会議名でさがす 議員名でさがす

録画中継
会議を録画してご覧いただけます

会議名でさがす
会議名の一語からさがします

議員名でさがす
議員名の一語からさがします

ことばでさがす
ことばを検索してさがします

検索

※会議録、議案、質問の配信もしています。

◎ご利用について

- この映像配信は、あま市議会の公式記録ではありません。
- 本システムは、JIS第一・第二水準の文字で構成されています。このため人名や地名など、会議録等と一部異なる場合があります。
- 録画中継は、会議の翌日から起算して、おおむね7日後（土曜、日曜及び国民の祝日等を除く）からご覧いただけます。
- 映像配信へのアクセスが集中した場合、映像が正しく表示されないことがあります。しばらくしてから再度のアクセスをお願いします。
- 配信されている映像の二次利用はできません。
- Microsoft Internet Explorer 環境において、映像が再生されない場合

◎お問い合わせ

あま市議会事務局庶務課
愛知県あま市甚目寺二伴田76番地
電話：052-444-3174
ファクス：052-444-4055

メールでのお問い合わせは専用フォームをご利用ください。

◎推奨環境

- Internet Explorer、Mozilla Firefox、Safari の最新版
- JavaScript、スタイルシート、Media Player Extension アドオンの有効化

インターネット議会中継のページ

<http://www.ama-city.stream.jfit.co.jp/>

ご利用ください

6月定例会予定

6月2日(月)	議案説明
6月10日(火)	一般質問
6月11日(水)	議案質疑
6月16日(月)	総務文教委員会
6月17日(火)	厚生委員会
6月18日(水)	建設産業委員会
6月24日(火)	討論・採決

※日程は変更となる場合があります。

編集後記

3月定例会では、新年度予算が可決され、新規・拡充事業も決定しました。

また紙面の写真のように、新市民病院の建設工事本格的に始まっていますので、皆さんも一度足を運ばれてはいかがでしょうか。

次回も内容の濃い議会だよりをお届けできるように、委員一同頑張ります。

（藤井）

議会だより

編集特別委員会

委員長
副委員長
委員

石田 良雄
柏原 哲功
加藤 定彦
藤井 幸正
後藤 幸正
横井 正秀
櫻井 信夫
伊藤 嘉規
岩本 一三

発行／あま市議会 編集／議会だより編集特別委員会

〒490-1198 愛知県あま市甚目寺二伴田76番地 TEL 052-444-3174 FAX 052-444-4055